

1 商業

施策の基本的考え方

- 商店街が実施する魅力・賑わいを創出する事業や商業基盤施設の整備を行い、活性化を図ります。
- 中心商店街の活性化を図るため、TMO*構想への支援や市街地再開発事業の促進などを行います。
- 経営の近代化を図るため、融資制度の充実、共同事業の促進、診断・指導事業の充実や経営者意識の高揚を図ります。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
商業 01	01 商業基盤の向上	01 商業推進事業
		02 中心市街地商業等活性化事業 (再掲)
	02 中心商業地の活性化	01 中心市街地商業等活性化事業
		02 商業推進事業 (再掲)
	03 経営の近代化	01 融資対策事業

01 商業基盤の向上

■商業推進事業 【事業No.04010101】	担当部課係名	産業部	商工振興課	ダイヤル 237-5693
			商工振興係	

事業概要

- 甲府市内の商店街の活性化、魅力、賑わいの創出を目指す。

現況と課題

- 多様化する消費者ニーズに対応した商品戦略を図るなど、地元商店ならではの展開を図る必要等があるが、具体的な方策が見いだせていない。

今後の事業展開

- 甲府商工会議所、甲府商店街連盟及び商店街等へ助成している事業の内容を検証し、目的が達成されたものは廃止するとともに、新たな事業を展開していく。
- 合併に伴う東八西部商工会への補助金については、事業規模や甲府商工会議所とのバランスを踏まえ協議検討していく。

成果指標	実績値		見込み値			目標値			目標値合計 (H19~21)
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
小売業商店数(件)	2,668 H16 商業統計調査	2,700	2,700	2,700	2,700				8,100
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)						計画額合計 (H19~21)
	平成18年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度				
	12,430		9,512	9,226	9,226				

■中心市街地商業等活性化事業 【事業No.04010102←No.04010201】再掲	担当部課係名	産業部	商工振興課	ダイヤル 237-5693
			商工振興係	

02 中心商業地の活性化

■中心市街地商業等活性化事業 【事業No.04010201】	担当部課係名	産業部	商工振興課	ダイヤル	237-5693
			商工振興係		

事業概要

- 中心市街地商業等の活性化、魅力、賑わいの創出を目指す。

現況と課題

- 中心商店街の空洞化に歯止めがかからない状態が続いている。

今後の事業展開

- 改正中心市街地活性化法の施行に伴い、TMO*及び TMO*構想は法的裏付けが消滅してしまうが、当分の間は、空き店舗対策などの TMO*構想に基づくソフト事業については支援を行っていく。ハード事業については、国の補助メニューを活用できるよう検討していく。
- 新たな計画や構想については、関係部局と協議していく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H19~21)
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
空き店舗率(%)	18.6	15	15	15	15	15
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H19~21)
	平成 18 年度		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
	54,137		55,648	14,415	14,415	

■商業推進事業 【事業No.04010202←No.04010101】再掲	担当部課係名	産業部	商工振興課	ダイヤル	237-5693
			商工振興係		

03 経営の近代化

■融資対策事業 【事業No.04010301】	担当部課係名	産業部	商工振興課	ダイヤル	237-5694
			金融係		

事業概要

●中小企業の経営及び構造の改善並びに経営基盤の強化を促進するため、中小企業者に対し、預託金・寄託金を原資に指定金融機関を通じ必要な事業資金の融資を行う。

現況と課題

●景気回復による中小企業者の経営状況の改善及び金融機関の財政健全化による独自融資の増加により、融資実績が減少している。

今後の事業展開

●実施計画の着実な推進を図る

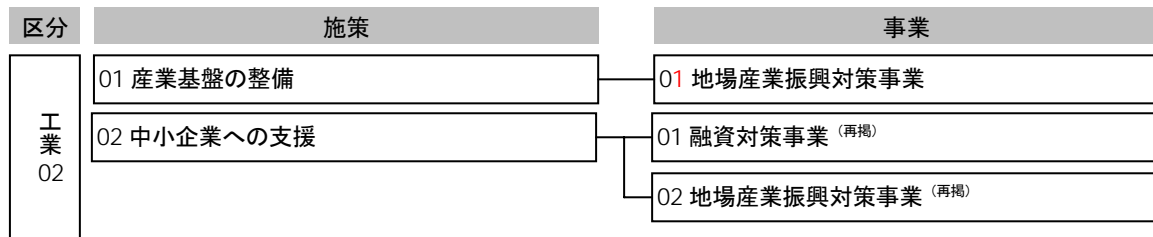
成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H19~21)
			平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	
融資金額(千円)	1,310,084	1,310,084	1,310,084	1,310,084	1,310,084	3,930,252
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H19~21)
	平成 18 年度		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
	427,252		325,936	325,936	325,936	

2 工業

施策の基本的考え方

- 中小企業振興策として経営革新や人材育成に対する支援をするとともに、産業の活性化を図るため、既存工業団地の生産環境の維持増進や小規模工業団地の造成を支援します。
- 新規分野への進出、高度化、企業連携や異業種交流などを支援し新たな産業の創出を図るための環境整備に努めます。

施策・事業の体系



01 産業基盤の整備

■地場産業振興対策事業 【事業No.04020101】	担当部課係名	産業部	商工振興課	ガイリン	237-5693
			商工振興係		

事業概要

●地場産業の発展の担い手である、地場産業・伝統産業について、産地基盤の確立と販路拡大のために実施する業界の振興事業に対して助成を行う。

現況と課題

●個人経営・生業型企業が多いため、市内地場産業の経営基盤の強化や人材育成のための支援が必要である。

今後の事業展開

- 今年度も産業部内にワークショップを立ち上げ、組合せによる新甲府ブランドの創出について検討する。
- 本市の地場産業の中心である中小企業に対して、直接訪問・調査することによって現在各企業が抱えている諸問題等を把握することによって、産業の振興を図っていく。
- 物産展については、出品協会と連携を図りながら、長期にわたり有益な物産展会場を確保する。
- 各業界・組合等への助成については、見直しを行うとともに、産地ブランド研究開発事業や伝統工芸後継者育成及び産学官連携事業など引き続き支援を行う。

成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値合計 (H19~21)
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度		
物産展出展社数(社)	32	45	45	45	45	135	
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)				計画額合計 (H19~21)
	平成 18 年度		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度		
	27,310		23,981	23,261	21,261	68,503	

02 中小企業への支援

■融資対策事業 【事業No.04020201←No.04010301】再掲	担当部課係名	産業部	商工振興課	ガイリン	237-5694
			金融係		

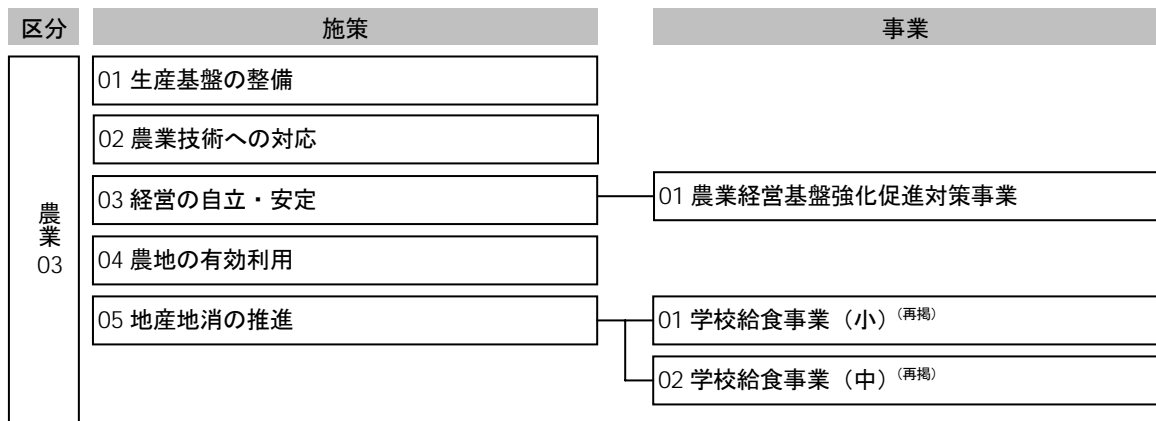
■地場産業振興対策事業 【事業No.04020202←No.04020101】再掲	担当部課係名	産業部	商工振興課	ガイリン	237-5693
			商工振興係		

3 農業

施策の基本的考え方

- 優良農地*の確保・保全を図るため、生産環境基盤の整備を行います。
- 技術の実証展示と普及指導、優良種苗の開発促進、試験展示圃場の利活用を行います。
- 農家の自立と経営の安定を図るため、農業経営改善を支援し、改善施設近代化の促進や生産販売対策の拡充を図ります。
- 農地銀行*の活用促進、遊休農地*対策の推進、中山間地域直接支払い制度*の推進を行いながら、農地の有効利用を図ります。
- 地産地消*の促進を図ります。

施策・事業の体系



05 地産地消の推進

■農業経営基盤強化促進対策事業 【事業No.04030301】	担当部課係名	産業部	農林振興課	ガイムン	237-5742
			農業振興係		

事業概要

●効率的で安定的な魅力のある農業経営を目指す農業者が、自ら作成する農業経営改善計画を、平成7年度に市が策定した基本構想と照らして「認定農業者」として認定し、その計画達成に向けて様々な支援措置を講じる。

現況と課題

●認定農業者数は、平成18年度中に目標人数を達成できる見込みであるが、農業を取り巻く厳しい環境下において、個々の経営改善が計画どおりに進んでいない農業者が多い。

今後の事業展開

●認定農業者の実質的な経営改善が図れるような施策の展開を図る。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H19~21)
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
平成18年認定農業者235人 (目標数値)への達成率(%)	80	100	100	100	100	100
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H19~21)
	平成18年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	8,845		6,079	5,896	5,896	

■学校給食事業（小学校） 【事業No.04030501←No.02010401】再掲	担当部課係名	教育部	学事課	ガイムン	223-7322
			保健給食係		

■学校給食事業（中学校） 【事業No.04030502←No.02010402】再掲	担当部課係名	教育部	学事課	ガイムン	223-7322
			保健給食係		

4 林業

施策の基本的考え方

- 適正な森林施業の実施により、健全な森林資源の維持増進を図るため、治山事業の推進、林道の整備促進を行うとともに、「甲府市森林整備計画*」の策定を行います。
- 林業経営の安定と、林業従事者の安定性を促進させるため、林業構造改善を推進し、林業の担い手の確保に努めます。
- 公益森林の整備促進のため、公有林化の推進を行うとともに、緑のボランティア*の活動促進を図ります。
- 森林整備地域活動支援交付金を活用して、森林とふれあう環境の整備を行うとともに、民有林の適時適切な森林施業の推進を図ります。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
林業 04	01 林業基盤の整備	01 奥仙丈林道開設事業
		02 野猿谷林道改築事業
		03 折八林道整備事業
	02 林業経営の振興	01 森づくり推進事業 (再掲)
	03 森林の保全	01 森づくり推進事業
	04 森林文化の創造	01 森づくり推進事業 (再掲)

01 林業基盤の整備

■奥仙文林道開設事業 【事業No.04040101】	担当部課係名	産業部	農林振興課	ダイヤル	237-5783
			森林土木係		

事業概要

●わが国経済、社会の発展に伴い国民の余暇ニーズも多様化し、年間を通じてレクリエーション利用のため森林への入込み者が増加していること、近年、山間部への住宅地の建設の進行により森林と住宅地が近接する地域が増加していること等から、林野火災の発生の危険度が増大している。以上の背景から森林地域においても、これに対応する施設の整備が必要となっている。このようなことから、林道の有する防火機能、消火活動に果たす役割を高度に発揮するため、防火林道の整備を図り、もって、林野火災の防止に資することをその主な目的とする。

現況と課題

●事業効果の向上を図るため県と同時竣工へ向けて事業費の拡大が必要である。

今後の事業展開

●地形地質状況の違いにより年度ごとの進捗率にバラツキが生じていたが、計画的な推進を図るためにも事業費の拡大等を適宜に行ない、平成23年度完成を目指す。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H19~21)
			平成17年度	平成18年度	平成19年度	
進捗率 (%)	61.6	67	77.4	84.7	90.7	90.7
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H19~21)
	平成18年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	40,024		40,025	40,025	40,025	

■野猿谷林道改築事業 【事業No.04040102】	担当部課係名	産業部	農林振興課	ダイヤル	237-5783
			森林土木係		

事業概要

●本林道は甲府市北部のクリスタルラインへのアクセス道であると同時に、昇仙峽を經由して甲府市街と黒平集落(戸数20戸・住民60人)とを結ぶ最短の生活関連林道でもあるが、路面状況の悪化、急カーブ、林道法面や路肩の危険箇所等が多いことから、改築工事を行なうことにより、地元住民や観光客等の通行車両等の安全を図り、北部地域の林業基盤整備や活性化を図る事を目的とする。

現況と課題

●早期完成を図るべきであるが、地形・地質条件が非常に厳しく県営分も進捗が遅れた。
●国立公園内にあり環境省からの指示により、河川側に拡幅することから、橋梁の桁長が長くなることから費用の増加が見込まれる。

今後の事業展開

●年次計画に基づき事業を推進し、平成19年度中に事業を完了する。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H19~21)
			平成17年度	平成18年度	平成19年度	
進捗率 (%)	24.8	62.4	100	—	—	100
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H19~21)
	平成18年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	50,500		55,500	—	—	

■折八林道整備事業 【事業No.04040103】	担当部課係名	産業部	農林振興課	ダイヤル	237-5783
			森林土木係		

事業概要

●甲府市の南部(旧上九一色村)に位置し、身延町、市川三郷町に通ずる基幹林道であるが、法面の崩落等があることから、2箇年でこれを保護し通行の安全を図る。

現況と課題

●比較的利用頻度の高い林道であるため、安全面を特に考慮し、早期完成を図る。

今後の事業展開

●2カ年で崩落箇所の法面保護、並びに安全施設の設置をおこない、平成19年度中に整備を完了する。

成果指標	実績値		見込み値			目標値		
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	目標値(H19~21)		
進捗率 (%)		42.9	100	—	—	100		
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計		
	平成18年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度	(H19~21)		
	11,000		10,000	—	—	10,000		

02 林業経営の振興

■森づくり推進事業 【事業No.04040201←No.04040301】再掲	担当部課係名	産業部	農林振興課	ダイヤル	237-5769
			森林保全係		

03 森林の保全

■ 森づくり推進事業 【事業No.04040301】	担当部課係名	産業部	農林振興課	ガイムン	237-5769
			森林保全係		

事業概要

- 全域水源かん養保安林*である甲府市有林を適切に管理するため、保育事業を重点的に実施し、公益機能高度発揮が期待できる森林に導く。

現況と課題

- 本市では、保育事業は補助事業を導入し実施しているが、現行の補助率では、持ち出しが多いため劣悪林の改良（新植・補植）が図れない。

今後の事業展開

- 森林施業計画に基づき効率かつ、効果的な森林整備の推進を図る。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H19~21)
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
市有林内の造林・保育の実施面積(ha)	19.21	22	22	22	22	66
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H19~21)
	平成 18 年度		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
	22,750		24,771	24,027	24,027	

04 森林文化の創造

■ 森づくり推進事業 【事業No.04040401←No.04040301】再掲	担当部課係名	産業部	農林振興課	ガイムン	237-5769
			森林保全係		

5 観光

施策の基本的考え方

- 観光客はもとより、ビジネスやコンベンション*を目的に来甲する人々が、短時間でも本市の魅力を感じることができ、次の機会にはリピーター*として訪れてもらえるような施策の展開を図ります。
- 多様な観光客を誘致するため、本市の豊かな地域資源を積極的に活用しながら、来甲者や観光客のニーズを的確に捉えた施策の展開を図ります。
- 本市の交通の利便性や立地条件を最大限活用しながら、国内外観光客の受け入れ体制の整備を図ります。また、観光客と市民との交流の主体となる担い手の育成に努めます。
- 本市の魅力を県内外に広く発信し、多くの人々に本市を訪れてもらうため、多種・多様・多面的な誘客宣伝活動の展開を効果的に行います。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
観光 05	01 都市型観光の推進	01 観光開発事業
	02 資源を活かした観光まちづくり	01 まつり推進事業
	03 受入体制の整備	01 観光開発事業 (再掲)
	04 情報発信の強化	01 観光開発事業 (再掲)

01 都市型観光の推進

■観光開発事業 【事業No.04050101】	担当部課係名	産業部	観光開発課 観光開発係	ダイヤル	237- 5702

事業概要

- 社会経済状況の変化や人々の価値観の多様化などを敏感に捉え、多種多様なメディアを用い、本市の観光資源をより効果的に広く伝達し、県内外の誘客を促進する。また新たな視点から隠れた観光資源の開発に努め、更なる観光振興を図る。

現況と課題

- 人々の自然・本物・健康志向の高まりの中、本市の豊かな自然や歴史・文化を最大限活用し、独自性のある観光資源の発掘に努めるとともに、まちなかにある観光資源と特産品をリンクした「まちなか観光」などによる本市の魅力を一層引き出した観光メニューの構築に取り組んでいく必要がある。さらに大河ドラマ「風林火山」の放映による風林火山ブームや官民協働による大型観光キャンペーン、VF 甲府ホームゲーム、平成20年春のJR デスティネーションキャンペーンなどで来甲する観光客がリピーターとなるような魅力ある観光資源の発掘やルート設定を行い、一過性で終わらせないような事業推進が必要である。

今後の事業展開

- 観光の主たる目的は、誘客、集客を図り、リピーターとして再び訪れていただけるような環境づくりをしていくことであるため、多種多様なメディアを活用し、より一層効果的な PR 活動の展開を図っていく。また武田神社周辺に点在した武田24将の住居跡などを巡る新観光コースを設定し、案内板の設置や武田史跡関連のパンフレットの作成を行うほか「甲府城址」、「歴史公園」武田家ゆかりの甲府五山を結ぶ「山裾古の道」等の活用を図り、風林火山ブームを一つの起爆剤として、一過性に終わることのないよう、継続的で広がりのある観光振興に取り組んでいく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H19~21)
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
年間観光客入込延べ人数 (単位:千人)	9,594	9,600	—	—	—	—
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H19~21)
	平成18年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	72,858		17,081	16,568	16,568	50,217

02 資源を活かした観光まちづくり

■まつり推進事業 【事業No.04050201】	担当部課係名	産業部	観光開発課	ダイヤル	237-5702
			観光開発係		

事業概要

- 「信玄公祭り」や「甲府大好きまつり」を通じ市民のふるさと意識を醸成し、参加者の自発的意識のもと市民連帯感の高揚を図るとともに、県内外の観光客に親しまれるまつりとして実施し、人口交流の増加を図る。

現況と課題

- 「県民・市民が、参画と協働の気持ちでまつりを盛り上げていくための意識の高揚を図ることが必要であるため、民間（市民）を中心とした組織づくりをしていくことが急務である。
- 「甲府大好きまつり」については、開催時期を秋から夏へ移行したことにより、例年を上回る集客があり、充実した「夏まつり」として甲府市中心部へ賑わいを醸成することができた。開催時期を変更したことによって、今後はまつりPRの強化を図っていくことが必要である。

今後の事業展開

- 「信玄公祭り」は、甲州軍団出陣への軍団参加や賑わい城下町など県実行委員会事業へ協力するとともに、「武田城下祭り」や「武田24将騎馬行列」などの甲府市実行委員会の独自事業の充実や新しい企画にも挑戦し、まつりの活性化を図っていく。またNHK大河ドラマ放映を機に、関係機関と連携を図り祭りのPRをしていく。
- 「甲府大好きまつり」については、子供からお年寄りまでが参加して楽しめる「市民まつり」への移行を達成し、参画と協働の精神で、市民自らまつりの企画・立案に参加し、「市民の手づくり」のまつりとなり、次世代に継承していきける「まつり」となるよう定着させていくとともに「夏まつり」としての定着化のため、開催日の決定時期、まつりのPR方法等についても実行委員会において検討していく。また行政が側面的援助に役割がシフトできるような事業展開を引き続き図っていく。

成果指標	実績値		見込み値			目標値			目標値合計 (H19~21)
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
信玄公祭りの人出 (単位:人)	92,582	94,707	—	—	—	—	—	—	—
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H19~21)			
	平成18年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度				
	24,000		24,000	23,280	23,280	70,560			

03 受入体制の整備

■観光開発事業 【事業No.04050301←No.04050101】再掲	担当部課係名	産業部	観光開発課	ダイヤル	237-5702
			観光開発係		

04 情報発信の強化

■観光開発事業 【事業No.04050401←No.04050101】再掲	担当部課係名	産業部	観光開発課	ダイヤル	237-5702
			観光開発係		

6 生鮮食料品流通機構

施策の基本的考え方

- 市場を取り巻く様々な環境の変化に対応するため機能強化に努めるとともに、市場運営に関しては、民間活力の導入を視野に入れ、生産・消費者両サイドの期待に応えられる安全・安心な流通システムへの転換が図れるよう、効率的で経済的な運営方法の構築を図ります。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
生鮮食料品流通機構 06	01 市場運営の健全化	

7 山間地域

施策の基本的考え方

- 環境保全と開発の調和を基本とした森林の利活用を行いながら、農林業と観光産業の共存できる地域づくりに努めます。
- 山間地域の活用を図りながら、山村の振興に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
山間地域 07	01 自然環境の保全・活用	
	02 山間地域の活用	

8 勤労者

施策の基本的考え方

- 「労働問題懇話会」、「勤労女性問題懇話会」を設置するなかで、具体的な提言に基づき勤労者福祉の向上に努めるとともに、中小企業の福利厚生事業を実施する（財）甲府市勤労者福祉サービスセンターの支援等を図ります。
- 勤労者の生活の安定のため、生活資金や住宅資金の貸付を行うとともに、拠点施設の充実や保養施設の利用促進を図ります。
- 雇用の推進を図るため、山梨労働局、甲府職業安定所、甲府商工会議所などの関係機関との連携を図りながら、若年層を中心とする雇用の創出などに努めます。また、中高年齢者の雇用を確保するため、（社）甲府市シルバー人材センターの支援等を図ります。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
勤 労 者 08	01 勤労者福祉	01 勤労者福祉サービスセンター推進事業
	02 勤労者の生活支援	01 勤労者融資対策事業
	03 雇用対策の推進	01 雇用促進対策事業

01 勤労者福祉

■勤労者福祉サービスセンター推進事業 【事業No.04080101】	担当部課係名	産業部	労政課	ダイヤル	237-5736
			労政係		

事業概要

- 中小企業に勤務する勤労者及び事業主の在職中の総合的な勤労者福祉事業を大企業並みに推進することを目的とする。

現況と課題

- 事業の充実を図り、会員増強に努める。

今後の事業展開

- 加入促進員を配置し、会員の拡大に努めると共に、勤労者のニーズに合った事業を展開していく。管理費等の見直しと削減を図る。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H19~21)
			平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	
会員数 (人)	3, 221	3, 445	3, 620	3, 705	3, 795	11, 120
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H19~21)
	平成 18 年度		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
	27, 049		24,575	24,575	24,575	

02 勤労者の生活支援

■勤労者融資対策事業 【事業No.04080201】	担当部課係名	産業部	労政課	ダイヤル	237-5736
			労政係		

事業概要

- 勤労者に住宅の新築、増改築及び購入に必要な資金や、医療、教育、一般生活資金の融資を行うことにより、勤労者の福祉の向上と生活の安定並びに、住環境の整備と人口増を図る。
平成 17 年度から、勤労者住宅資金融資事業と勤労者生活安定資金融資事業とを統合した。

現況と課題

- 貸付枠の拡大を図る中で低利な融資利率を設定し利用件数の向上を図る。

今後の事業展開

- 融資事業の継続推進を図る中で、より利用しやすい制度しやすい制度となるよう、貸付利率や貸付限度額等の内容を適宜見直していく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H19~21)
			平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	
生活安定資金貸付総額 (単位:千円)	14, 300	30, 000	40, 000	40, 000	40, 000	120, 000
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H19~21)
	平成 18 年度		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
	616, 702		706,264	706,264	706,264	

03 雇用対策の推進

■雇用促進対策事業 【事業No.04080301】	担当部課係名	産業部	労政課	ダイヤル	237- 5736
			労政係		

事業概要

- 完全失業率が4%台で推移する中、若年者並びに中高年齢者の雇用対策の充実を図る。
- 高齢者の生きがいや社会への積極的参加を推進していくため、シルバー人材センターの運営管理を支援する。
- 労働、年金問題等に関する相談業務の充実を図る。

現況と課題

- 従来は、高齢者を対象にした雇用対策が主であったが、平成18年度より若年者を対象にした雇用対策事業も重要であると考え実施する。

今後の事業展開

- 若年層の雇用問題が深刻化していることから、フリーター*やニート*を中心とした就職支援セミナーや就業相談等を実施し、就業支援を行う。
- 甲府商工会議所と連携をした甲府市インターンシップ制度を平成18年度より実施する。
- 山梨労働局、甲府公共職業安定所、甲府商工会議所と連携した若年者を対象とした「就職面接会」や「企業合同説明会」事業について強化する。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H19~21)
			平成17年度	平成18年度	平成19年度	
シルバー人材センター 業務契約金額(単位:千円)	183,643	184,000	185,000	186,000	187,000	558,000
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H19~21)
	平成18年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	32,758		28,212	27,365	27,365	82,942